

令和5年2月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

宮本 法広 議員

教育行政

(1) 夜間中学の設置について

夜間中学の設置に向けた進捗状況はどのようになっているかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

昨年7月に長崎市と佐世保市で、夜間中学の周知と理解を深めるシンポジウムを開催したところ、2会場で100名を超える参加者があり、開校に向けた期待の声を多くいただいたところであります。

また、文部科学省とのオンラインによる協議をはじめ、夜間中学に関心のある市町教育委員会との意見交換や他県の夜間中学の視察を実施するなど、情報と課題の共有を図っており、設置に向けた課題の解決に努めているところで

す。

令和5年度の設置を見送った理由についてお尋ねしたい。

(教育長答弁)

報道にもあったとおり、新型コロナウイルスの影響もございました。

今、お話があった、佐世保市とは、これまでも他県の先進校へ訪問したり、文部科学省を交えた3者の協議の場を設けるなど、情報交換を行ってまいりました。

そのような中、全国的に不登校が増えているという状況もありまして、昨年6月には、国から夜間中学と不登校特例校との連携の可能性を示す方針が出されるなど、少し状況の変化が生じてきたこともありまして、時間をかけて検討する必要があると考えております。

今後、佐世保市とはこれまで以上に連携を図りながら、多様な年齢層における学びの場の実現ができるかどうかという取組にも努めてまいりたいと考えております。

夜間中学の設置場所及び設置年度については、どのように考えているかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

夜間中学の設置にあたっては、不登校児童生徒の増加など、様々な状況の変化を踏まえて、詳細なニーズの把握や設置対象となる地域の選定など、佐世保市を含めた関係市町と丁寧な議論を進める必要があると考えております。

このほか、県と市町の役割分担、施設整備に係る費用負担の在り方など、課題を整理する時間も必要となるため、設置年度等につきましては、一定目処が立った時点でお示ししたいと考えております。

(2) 発達障がい児の支援対策について

本県の「通級指導教室」の増設と専門知識を持つ教員の質の向上対策にどのように取り組んでいかれるのか、お尋ねしたい。

(教育長答弁)

本県における小中学校の通級指導教室についてでございますけども、これまでも順次増やしております。令和4年度につきましては、前年度から14学級増となる236学級を設置したところであります。今後とも通級指導教室につきましては、市町と協議しながら、必要に応じて増設していきたいと考えております。

また、通級指導教室を利用します児童生徒は、授業の大半を通常の学級で受けていることから、学級担任も発達障害に関する専門性の向上が不可欠であると考えております。

今後、学級担任向けの発達障害に関するオンライン研修をさらに充実させますとともに、特別支援学校の教員が小中学校を巡回して行う授業支援、これにも積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

特別な支援を必要とする児童生徒に対し、切れ目のない支援体制と情報共有を目的として、学校と放課後等デイサービスを繋ぐ体制を構築すべきと考えますが、県の見解をお尋ねしたい。

(教育長答弁)

障害のある子どもの多くは、下校後、放課後等デイサービスを利用しておりました。学校とデイサービス事業者が子どもの情報を共有して、支援に当たるといことは、ご指摘のとおり、重要であると考えております。

	<p>今後、学校が関係機関と情報を共有するために作成する個別の教育支援計画というものがございますので、これを活用しまして、それぞれが提供します支援の内容を整理したり、お互いの役割を確認したりというような仕組み作りにつきまして、市町の教育委員会や自立支援協議会と協議してまいりたいと考えております。</p>
--	--